

伝えたい

まちの遺産

旧国華小学校

「ふるさと資料館」としての再生

南条地区の脇本に、平成14年10月にオープンした資料館があります。この資料館の名前は、ふるさと資料館「国華」。元は明治初期から昭和中期まで開校されていた小学校でしたが、建物の老朽化に伴って解体される際に一部が移築され、資料館としての新しい生命を吹き込まれました。

移築されたのは、大正11年に建てられて体操場（体育館）として利用されていた建物の一部で、元の建築部材をできるかぎり使用して移築されています。体操場の正面には児童昇降口（玄関）がついており、この昇降口が現在、資料館の出入口となっている部分です。昇降口はアーチ型をしており、腰の高さまでレンガを積んでその上に横板を張った正面柱や、漆喰塗りの壁などが見られ、当時としては洋風意匠のなかなか斬新なデザインだったのではないでしょう。

体操場内部は天井がなく、約4メートルの高さがあるトラスの小屋根をそのまま見ることができ、豪快な空間を感じるとともに大正時代当時の建築技法を知ることができま

す。主な展示品としては、廃校になる直前の学校全体を表現したミニチュア模型があげられます。子供たちの学舎であった校舎は3棟あり、南校舎は明治36年、北校舎は大正11年、新校舎は昭和17年に建てられました。それぞれが違う時代に建てられた校舎は、よく似た建築様式を持っています。しかしながら、時代が下るごとに教室が広く



現在



大正13年頃

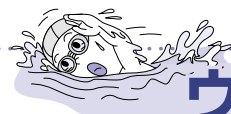
新日の国華小学校

なったり、小屋組が南校舎では和小屋なのに対し、北校舎・新校舎ではトラス工法を用いたりなど、時代によって多少の変化も見られます。このように明治・大正・昭和の学校建築の様子や建築様式の変遷などを直に比べて見るのできる例はめずらしく、建築資料としても大変貴重なものでしたが、残念ながら校舎はすべて取り壊され、今は展示されているミニチュア模型と写真資料がそれらの特徴を伝えていきます。

その他には、江戸時代まで使用されていた民具や、国史跡・仙山城跡をはじめとする町内の遺跡から出土した土器・陶磁器などを展示しており、名前の通り「ふるさと」に密着した資料館として運営されています。これらの展示品は一般に公開されているほか、地元小学生の社会科見学にも利用されていて、子供たちの学習の場としての役割も失ってはおりません。

明治5年に定められた「学制」によって開設された旧国華小学校。昭和39年に廃校となるまで旧南日野村の子供たちの想い出を刻んだ学校は、現在、移り変わった時代の中でまた新たな歴史を刻んでいます。

夏に向けてしっかりと体を動かしてみませんか？



ウォーターランド通信

ウォーターランド南条 ☎ 47・3711

☆ウォーターランドGoGoバス運行!

6月から平日の午前中に町内専用のGoGoバスを運行します。この機会にプールやジムで体を動かしてみませんか？

【河野方面】火・木

【今庄方面】水・木・金

【南条方面】ご要望に応じて

※ウォーターランドを午前9時前に出発し、地区内を巡回。午前10時頃に到着します。帰りは、正午頃出発となります。

※詳しくは、チラシでご確認ください。

☆フィットネス相談窓口開設中!

毎週月曜日の午後(午後1時30分〜午後3時30分)に相談窓口を開設中です。

例えば:

・腰やひざの痛みを解消するのに負担をかけずにできる運動がないか。

・少し体重を減らしたいけど、どのように運動したらよいか。

・一から水泳を習いたいのが、専門の指導員が付いてくれるのか。

・公民館で定期的に健康体操をやりたいので来てほしい。

など「健康づくり」に関する相談を受け付けます。お気軽にご連絡！

